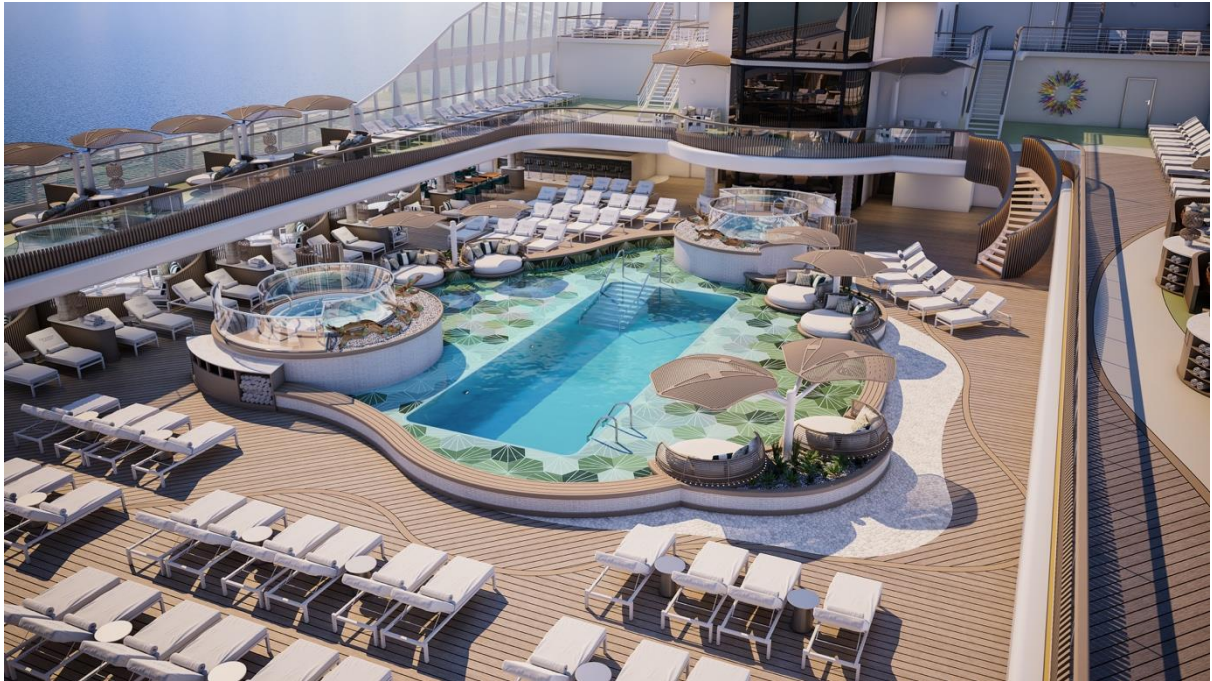




オーシャニアクルーズが 2024-2025 TROPICS & EXOTICS クルーズを発表



東京 2022年11月1日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引するオーシャニアクルーズが2024-2025 Tropics and Exotics コレクションの詳細を発表。販売開始は2022年11月3日から。

新コレクションは7大陸を網羅する157クルーズ、期間は7日から200日に及びます。300を超える寄港地には新たに加えられた知る人ぞ知る14港も含まれます。さらに123クルーズに延べ451泊の停泊も織り込まれ、他のプレミアムラインと比較して寄港地滞在時間が30%から50%多くとられています。

オーシャニアクルーズ社長兼 CEO ハワード・シャーマンは「今回発表のコレクションには注目の港だけでなく、ほとんど観光地化されていない地球の隅々までを探訪する機会も多々含まれています。私共の新造船および新造船を凌駕するまでに大改装を施した客船を加えた全7隻により、どのクルーズも目的地と船上体験双方で実りあるものとなるに違いありません」としています。

世界をもっと深く知りたい向きにはグランドボヤージュの70コースも。いずれも複数の大陸とそれぞれの魅力ある地域を制覇できる大冒険です。2024-2025 Tropics and Exotics の新コースでは、もう一つの醍醐味は寄港地での没入体験。多くのクルーズがアマゾン、ブラジル沿岸部の村々、アラビア半島、日本、オーストラリア一周といった憧れの地域に焦点を当て、バラエティに富む内容となっています。



観光地としてまだ大衆化していない行先としては、インドネシアやパプアニューギニア、南太平洋のヨットハーバーや小さな環礁、また北太平洋では初春を満喫しながら日本の緑豊かな北部からダッチハーバー、コディアック、ウイッティアといった粗削りなアラスカの辺境に至るクルーズも。

2024-2025 Tropics and Exotics コレクションのハイライト

- 150以上のクルーズのうち123クルーズは停泊を含み、地球規模のグランドボヤージュが70クルーズ。
- カリブ海、メキシコ、パナマ運河のクルーズでは、ボネール、カリアク、ドミニカ、グアドループといったあまり観光地化していない島々も訪れることで新たな熱帯の魅力を堪能。
- 南米ではパタゴニアの絶景、アマゾン川のリバークルーズ、ブラジルとウルグアイの黄金海岸などに。
- アジアでは遠く離れた場所でだれもが憧れる貴重体験を。東南アジアや魅惑の日本を中心としたものなど。
- オーストラリアとニュージーランドではダイナミックな大都市だけでなく、西オーストラリア沿岸部、ニュージーランドのブラフ、ギズボーン、ティマルといったまだあまり踏み荒らされていない穴場や、仏領ポリネシアやメラネシアでは平穏の島々に。
- 広範囲におよぶグランドボヤージュも様々な日程で。南米、南太平洋、東南アジア、さらにはカリブ海やパナマ運河までも含み、それぞれをつなげてあらゆる場所を網羅するか、または一つの場所にじっくりと深入りも。

新規寄港地

- カマロネス(アルゼンチン)
- シャンパンベイ(バヌアツ)



- エディンバラ・オブ・ザ・セブン・シーズ(トリスタン・ダ・クーニャ)
- フェルナンディナビーチ(フロリダ州)
- ハンバントタ(スリランカ)
- ヒルズボロ-カリアク(グレナダ)
- 常陸那珂(日本)
- 花蓮(台湾)
- ロス・エスタードス島(アルゼンチン)
- クパン(インドネシア)
- プエルト・デル・ロサリオ(カナリア諸島)
- セントヘリア(チャンネル諸島)
- 高松(日本)
- ワインガブ(インドネシア)

完璧の進化-新造船を凌駕する体験

オーシャニアクルーズはオーシャニア NEXTによりお客様体験の進化と向上を常に追求しています。絶品の料理、考え抜かれた旅行体験、ラグジュアリーな小型客船という、お客様にオーシャニアクルーズに何度でも戻りたいとの気持ちを抱かせるような特性に焦点が当てられています。レガッタ、インシグニア、ノーティカ、シレーヌ、ビスタの洗練を反映して、マリーナトリビエラの全面的な刷新では、生まれ変わったスイートルームやステートルーム、そして明るく開放的な雰囲気にも包まれたエレガントなパブリックスペースが見事な調和を奏でています。船上の主要体験もさらに魅力を増し、ダイニングは芸術の域に達する極上体験とサービスを提供する場となるなど、新たな味・料理体験への広がりを見せています。グルメとよぶにふさわしい食も、グランドダイニングルームの味わい豊かな料理の数々から唯一無二のドン・ペリニオンペアリングディナーに至るまで、まったく新たな様相を呈しています。オーシャニアクルーズの最新鋭船ビスタには食とゲスト体験の領域で多くの「初」が取り入れられています。全保有客船を通じて、アクアマールスパ+バイタルティセンターでのホリスティックウェルネスとの出会いは健康で長生きのライフスタイルを助長します。ゴーグリーン、ゴーローカル、ビヨンドブループリンツ、カリナリーディスカバリーツアー、フード&ワイントレイルズツアー、ウェルネスディスカバリーツアーby アクアマールといった新たな寄港地体験がより奥の深い探訪を可能にします。



体験の真髄

オーシャンアクルーズ体験の特徴のひとつはトレードマークでもある一人一人のお客様にあわせて対応する常に変わらない温もりのあるサービス。お客様は初めてであれ、50回目であれ、名前を覚えて好みを把握しているスタッフから、心からの微笑みと熱意で迎えられ、快適に過ごすことができます。

オーシャンアクルーズの豪華な小型船、洋上最高の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャンアクルーズについて

オーシャンアクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大ゲスト数 1,238 名、全 7 隻のラグジュアリーな小型客船は洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地で他の追随を許さない休日体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験は、180 日間の世界一周クルーズを始め、ヨーロッパ、アラスカ、アジア、アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、ニューイングランド-カナダ、バミューダ、カリブ、パナマ運河、タヒチと南太平洋の名所から小規模な港街まで 450 を超える港を巡ります。また、2025 年の導入予定で乗客 1,200 名規模のアリユーラクラスの船を発注済み。マイアミに本部を置くオーシャンアクルーズは、ノルウェージャンクルーズライン、オーシャンアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズを含めた世界的クルーズブランドを運営する総合クルーズオペレーターのノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスが持ち株会社。

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスについて

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス株式会社(NYSE:NCLH)はノルウェージャンクルーズライン、オーシャンアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズの各ブランドを運営し、世界のクルーズ業界をけん引しています。3 ブランドの保有船合計 28 隻、総ゲスト数はほぼ 6 万名。各クルーズブランドのアイテナリーには世界 490 を超えるデスティネーションが網羅されています。今後 2027 年までに総ゲスト数 2 万 4,000 名を数える 9 隻の新造クルーズ船導入予定。

【発行元】オーシャンアクルーズ PR 株式会社 Flair